

別 掲

いわて未来研インタビュー

☆ 中心課題は、「教育・文化・スポーツの振興ーラクビーワールドカップの成果を活かす、東京オリンピックまで 1 年」です。 ☆ 取材時期:令和元年 12 月

✿ 東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて準備は急ピッチ ✿



伊藤 学司 さん

(公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 チーフ・ファイナンシャル・オフィサー 企画財務局長)

相原: 国を挙げての東京オリンピック・パラリンピックの準備たけなわの中、その中枢にあるお立場の方に取材対応いただき、厚く御礼申し上げます。岩手県ゆかりの方ということで幸運を感じております。

まず、ご略歴と現在の仕事内容についてお伺いします。

伊藤: 平成 3 年に文部省(当時)に入省しました。平成 11 年に岩手県教育委員会文化課長となり、その後学校教育課長を務め文科省に戻りました。のちに長野県



教育長を務め、直前のポストは文科省初等中等教育局財務課長でした。

現在の職のチーフ・ファイナンシャル・オフィサーですが、他の局まで含めての財務責任者でお金に関する代表権を持つ形となっています。

相原: 最も苦勞されていることなどをお伺いします。

伊藤: 視点ごとに述べてみます。

一つ目は誰も経験したことがないということです。前回東京オリンピック(1964 年)に仕事をした人は定年でおりません。過去を踏まえてこうすればいいとはいかない、毎日がチャレンジといった状態です。

二つ目はステークホルダー(利害関係者)のことです。これが大変多い。上部に IOC(国際オリンピック委員会)が

本稿の画像は編集事務局が挿入したものです。

あり、陸上とか水泳といった競技ごとに IF(国際連盟)があります。また、オリンピックを世界中の人々にテレビで見ってもらうために OBS(オリンピック放送機構)というオリンピックだけのための世界で一つの放送局を創って運営しています。

更には民間企業パートナーとしてコカコーラ、トヨタ、パナソニックなどの企業に多額の支援を頂いております。

国内的には東京都と JOC(日本オリンピック委員会)が一緒に取り組む形をとり、この両者の出資を受けて本法人である公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ができています。従ってこの両者の話を聞いて物事を進めていくことになります。

警備、テロ対策、世界中からの元首クラスの対応など様々な相手と調整し、交渉していかなければなりません。

三つ目は3千3百人を超す職員と仕事を進める点です。スタート時には50人程度でしたが、大会時には8千人くらいに増えていきます。ただし、大会が終わればゼロになっていきます。

こうした職員は自前で養成していくことはできないので、国、東京都、企業、スポーツ団体からの出向者で埋めてい



新国立競技場

くほかありません。バックグラウンドの異なる人々と一緒に仕事をするようになります。外国人も多く、意思疎通の苦労があります。

相原: 全体の準備はどの程度の進捗ですか。また今後の山場をお伺いします。

伊藤: 施設に関しては、ほぼ 95%完成しています。本番 7 カ月前にしてはオリンピック始まって以来の良いペースと思います。

ハコは出来ましたが、運営面はこれからです。いわゆる導線や案内順の策定などはこれからです。今後、会場運営計画の中で全ての会場で誰が何日何時にどう動くといったことを徹底検証していきます。天候や不慮の事故のこともあり、もう一つのプラン B を用意しておく必要もあります。想定外のことへの対処はやはり準備がものを言うでしょう。

今年の夏に 1 年前テストとして世界選手権等をやっていただきましたが、足りなかったいろいろなことが分かりました。天候が少し崩れたり台風が来たりすると混乱しかねません。

相原: 予算とか資金面は如何ですか。

伊藤: 過去のどのオリンピックよりも支援が手厚いと感じています。ローカルパートナーという東京大会だけの支援企

業も手厚い状況です。

一方で出ていくお金も大きくなっています。地価の高い東京では駐車場の用意一つにも大きな資金を要し、人件費も高く、仮設施設の工事費も上がっています。緊縮で進め、絶対に赤字を出さない覚悟で臨んでいます。チケットもお陰様でもの凄い人気であり、企業からの支援も新しいパートナーを発掘するなど収入確保に努め、収支均衡を図っていきます。

相原： 最後に国民の皆さんへの協力要請や呼びかけなどをお伺いします。改めてご協力に感謝いたします。

伊藤： このオリンピック・パラリンピックは、世界中の人々に日本が震災復興で頑張っている姿を発信する場でもあります。インバウンド(訪日外国人旅行者)も来夏はピークになると思います。ラグ

ビーワールドカップ 2019 で感動を呼んだスポーツの良さを 55 のすべての競技で見せたいと考えています。

国民の皆さんにはまずは関心を持って頂き、直接観戦に至らなくともテレビで見る、何らかのボランティア活動に参加するなどして頂ければと思います。

また、岩手について申しますと、聖火リレーがギリシャから松島基地に到着した後岩手に運び、「復興の火」として県内で 2 日間展示します(その後聖火リレーが福島をスタート)。

世界中のメディアが訪れる中で岩手、宮城、福島の三県の食材を盛り込んで世界に発信したいと考えていますので、三県の皆さんには連携したツアーを組むなどの積極的な取り組みを期待したいと思います。

2020 東京五輪 聖火リレーの実施順

2020年3月26日に福島県をスタート。
47都道府県を121日間で巡る

—— リレー経路
..... 船舶など



※ 本稿の画像は編集事務局が挿入したものです。

✿ 岩手県立美術館について ✿



わらが
藁谷 収 さん

(岩手県立美術館長、岩手大学名誉教授、彫刻家)

— 以下、質問部分を省略 —



● 略歴

♥ 1953 年盛岡市生まれです。岩手大学教育学部に入學し、同学部教育専攻科(美術・工芸)修了後助手となり、講師、助教授を経て教授となりました。

♠ 美術館長は 4 年前から非常勤で勤めていますが、モノづくりが専門ですのでこの職をいただいたのは全く予想外でした。

● 美術館の運営について

◆ 当館は 2001 年にオープンし、2019 年 10 月には 18 年目を迎えています。これまで岩手県出身の作家を中心とした作品の収集・展示や、多くの方々に魅了した企画展を開催してまいりました。

主なコレクション作品は、近現代の岩手に関わる作家を中心に、萬鐵五郎、松本竣介、舟越保武、堀江尚志などがあり、加えて現在活躍中のアーティストの絵画、彫刻、工芸などの作品も常設展示しています。

♣ 1 年を通して 6 企画程度、国内外の作品



岩手県立美術館

による企画展を開催いたしております。

これらの展覧会は県民をはじめとする多くの方々に優れた芸術作品に触れていただく機会であり、美術館としての役割の中心であると考えています。

♥ 美術館は美術作品の鑑賞にとどまらず、地域の中での文化的な活動の一端を担うことが必要という考えから、ギャラリートークやワークショップなど様々なイベントを企画しています。ギャラリートークは展示作品の中から学芸員が作家等を選び、作品の前で 30 分単位で説明しています。

♠ 被災地の芸術復興支援を継続して行っています。塩害の除去などを博物館と連携して実施し、修復後の作品を館内に展示もしています。

◆ 2021 年に 20 周年を迎えるに当たり、



松本竣介
「黒い花」1940 年



舟越保武
「原の城」1971 年

松本俊介、船越保武が中心という特色を維持しながらも、グローバル化の中で“岩手のゆかり”という観点を広く捉えつつ、抽象的、現代的絵画、彫刻、工芸作品等の収集展示も進めていきたいと考えています。



企画展

ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマリーヌまで～
2019. 11. 30
～2020. 2. 16

● 彫刻家として

♣ 野外彫刻を中心に取り組んできました。外に並べるのが目的ですから、例えば盛岡市内ですとどこにどう置くのが適当か考えます。難しいのは時間が経っていく、10 年 20 年後に環境や人々の価値観が変



藁谷 収 氏 作品

化していくということです。それに耐えていけるかどうかです。

永久設置を目指すのは困難で、見直し見つめ直していくことが大事です。放置してはいけない。これが 40 年やってみての実感です。

♥ 上の写真の作品は、昔あったものを想起し、風景を形にしたものです。見ていただいて何を思っただけなのかと考え造形しています。

♠ 石を中心にやってきました。石は残っていきますが、時間の流れの中で何が真に残っていくかが大切です。

※ 本稿の画像は編集事務局が挿入したものです。

❁ 県のスポーツ振興について ❁



藤田 芳男 さん

(岩手県文化スポーツ部参事兼スポーツ振興課総括課長)

— 以下、質問部分を省略 —

♥ ♠ ♦ ♣ ♥ ♠ ♦ ♣

● 岩手県スポーツ推進計画について

♥ 2019 年 3 月に計画を策定しました。その趣旨は次の 3 点を踏まえ、スポーツの推進により、県民の幸福で豊かな暮らしが実現するよう、県民をはじめ市町村やスポーツ関係団体等と連携・協働し、県が総合的計画的に取り組む施策を示すというものです。

- ① 国のスポーツ基本計画
- ② 2016 年に本県で開催した国体のレガシー(遺産)の継承
- ③ RWC2019 釜石開催、2020 東京オリ・パラ大会開催を控え、県民のスポ

スポーツ機運の高まり

♣ 「1 ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進」の柱では、若年期から高齢期まで、生涯を通じてスポーツを楽しむことができる環境が整い、県民誰もがスポーツを「する」「みる」「ささえる」といった 様々な形でスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、スポーツにより喜びを得ることで、いきいきとした生活を送ることを目指します。

◆ 「2 共生社会型スポーツの推進」の柱では、①障がい者スポーツの推進②高齢者スポーツの推進③スポーツにおける女性の活躍推進に取り組みます。

♣ 「3 国際的に活躍する競技スポーツの推進」の柱では、オリンピック・パラリンピック等の国際大会で活躍するトップアスリートを多数輩出することを目指し、また、その活躍する姿により、県民が喜びと感動を味わい、スポーツのすそ野が拡大していくことを目指します。



いわてスーパーキッズ



スポーツクライミング

次世代アスリートの発掘・育成のため、スーパーキッズ事業を行っていて、スキージャンプで活躍の小林 陵侑（りょうゆう）選手は第 1 期生です。

♥ 「4 地域を活性化させるスポーツの推進」の柱では、大規模大会や大学生の合宿誘致に力を入れています。

また、スポーツクライミングの施設を県営運動公園に整備、拡大し、岩手をこの競技の拠点にしようと考えています。高 2 の伊藤ふたば選手が目覚ましい活躍もあります。

さらに、盛岡市と共同で新野球場の建設を進めています。すべて人工芝で、全天候型屋内練習場も整備し、2023 年のオープンを目指しています。

● 県民誰もがスポーツに参画して頂きたい中で、働き盛りの方々の実施や障がい者スポーツの振興などが課題と考えています。



米 ひとめぼれ ささにしき りんご ふじ なし 長十郎

菅野 苹果

地方発送受承ります

園主 菅野 耕悦

岩手県奥州市江刺区愛宕字池向177番地

TEL 0197-35-1634
FAX

水沢公園 そば 無事故を願う親の心で教習する

大鐘の水沢自動車学校

<http://www.mizusawa-ds.com/>
奥州市水沢区大鐘町3丁目1番地 TEL0197-25-5158

※ 本稿の画像は編集事務局が挿入したものです。

✿ ラグビーワールドカップ 2019 釜石開催を振り返って ✿



さくらば
桜庭 吉彦 さん

(釜石シーウェイブス RFC ゼネラルマネージャー)

本稿は、令和元年 11 月 30 日のいわて未来研スポーツ講演会の内容並びにその後の本人への取材に基づき記載しています(質問部分は省略)。



● 出身やこれまでの歩み

♥ 秋田県天王町(現 潟上市)生まれで、秋田工業高校を卒業後、新日本製鉄(株)釜石製鉄所に入社し、平成 11 年には法政大学を卒業するなどして現在は、総務部総務室に勤務しています。

♠ ラグビーは高 2 から始めました。その前は野球部でしたが、体が大きかった(身長 190 cm、体重 90 kg)ため、声を掛けられたのです。未経験でしたがその年の花園(全国大会)にも出場してベストエイトまで進み、3 年の時全国優勝することができました。

♦ 高 3 の時高校日本代表ウェールズ遠征に参加しました。ラグビーの本場でラグビー文化を経験できたのは大きな収穫でした。



試合後の交流会を通じて、ラグビーはよりお互いを讃えあう機会であることも学びました。

♣ 高校を卒業するころ、新日鉄釜石ラグビー部の選手兼監督の松尾雄治氏が実家の両親に会い、是非一緒にやろうと誘われました。当時そのチームは日本選手権 6 連覇中でした。それで新日鉄釜石の現場技術職として入社し、ラグビー部に所属しました。ただし、入社した 4 月には松尾氏は現役を引退して釜石を離れていました。

♥ 最初からロック(ラグビーのポジションで肉弾戦の最前線)で入りましたが、日本一を目指すチームだけにラグビーの質、トレーニングの質が高校とは違い、付いていくのが大変でした。

入った年に全国社会人大会ベスト 4、次の年は同大会準優勝でした。

♠ 日本代表には入社して 2 年目、19 歳の時に選ばれました。80 人くらいが候補合宿に参加し、そのうち 25 人くらいが候補に選ばれます。

1986 年から 1999 年までの間、日本代表として、ラグビーアジア大会に 6 回出場、ラグビーワールドカップに 3 回出場させていただきました。

- ◆ 2002 年に釜石シーウェイブス RFC のヘッドコーチとなりました。それまでは釜鉄ラグビー部の選手でしたが、チーム成績は振るわなくなっていました。もうすこし選手として頑張りたいかったのですが、引き受けることにしました。

釜石シーウェイブスは、地域共生型のクラブチームで様々な会社の社員等から構成されています。このことにより釜鉄ラグビー部はなくなりました。

ヘッドコーチとしてラグビーの意義を認識させながら、意識改革に取り組み、厳しい練習にも励みました。1～2 年目は一定の成果につながりましたが、3～4 年目はいろいろなことが成長できなくて必ずしも良い成績とはなりませんでした。様々な職場からの選手で練習時間の確保も難しい面もありました。ただ地域からの応援は得られやすくなったと思います。

- ♣ ヘッドコーチは 4 年で退任し、その後はチームにアドバイスする立場にいましたが、2016 年からゼネラルマネージャーとなり、チーム編成(チーム補強など)やチーム運営(資金獲得)などを 15 人ほどのスタッフと行っています。

- ラグビーワールドカップ 2019 釜石開催を振り返って

- ♥ ラグビーワールドカップは、4 年に 1 回開催される「ラグビー世界一」を決める大会で、オリンピック、FIFA ワールドカップ(サッカー)と並び世界三大スポーツイベントと呼ばれています。

世界の観戦者数でみると、夏季オリンピック(2016)616 万人、サッカーW 杯(2018)303 万人、ラグビーW 杯(2015)247 万人という状況です。



次の 3 点です。

- ① アジアで初のワールドカップ(これまでイングランド、南アフリカ、ウェールズ、オーストラリア、フランス、ニュージーランド、イングランドの順)
- ② ラグビー伝統国以外で初のワールドカップ
- ③ ラグビー 7 人制がオリンピック種目に採用されてから最初の大会

- ◆ 今大会は国内 12 都市で開催されましたが、その中に釜石市が含まれています。釜石開催の意義は次の 2 点です。

- ① 世界中から頂いた支援への感謝を伝え、復興の姿を発信
- ② “スポーツの力” による地域の創生

- ♣ 釜石開催結果は、次の通りでした。

- 9 月 25 日(水) 14:15 キックオフ
フィジー 27 VS 30 ウルグアイ
- 10 月 13 日(日) 12:15 キックオフ
ナミビア VS カナダ：中止

- ♥ 釜石開催により、次のレガシー(遺産)を残すことができたと思います。

- ① 釜石鵜住居復興スタジアム
- ② 市民の心の復興

市民が多く交流を持ち、明るい気持ちになれたことや沢山のおもてなしを尽くす事で、震災に関わる感謝を伝え、達成感や充実感が生まれたこと

※ 本稿の画像は編集事務局が挿入したものです。

❀ 特色ある図書館活動 ❀



工藤 巧 さん
(紫波町情報交流館 紫波町図書館 館長)

— 以下、質問部分を省略 —



工藤さん

● 自己紹介

大学卒業後、電気工事会社に勤め、その後紫波町役場に電気技術者として入りました。最後は建設担当部長で退職しましたが、1 年程して図書館長に招かれました。

● 図書館の運営

❖ 紫波町は 1 町 8 村の合併後、図書館整備にまで予算が回らず、紫波中央公民館に図書室を設けて町民の利用に供してきました。野村胡堂から贈られた基金により昭和 38 年に設置された胡堂文庫です。

巡回図書館車も設置し、ボランティアグループの活動なども盛んに行われるようになり、町民の読書要望に対して少なからぬ貢献をしてきたところです。

♠ しかし、紫波中央公民館の一室では利用者の増加に対応できず、事業活動も限定され、また蔵書数にも限界があるため、早くから独立した図書館の建設が望まれておりました。



手塚 美希 さん
(紫波町図書館 主任司書)

近年に至り、図書館が「オガールプロジェクト(紫波中央駅前都市整備事業)」の重要施設と位置付けられたことにより、胡堂文庫から半世紀を経てようやく実現(平成 24 年 8 月)の運びとなりました。

◆ コンセプトを「知りたい」「学びたい」「遊びたい」を支援する図書館とし、次の三つを運営三本柱としています。

- ① 子どもたち(0 歳から高校生まで)と、本をつなぐ。
- ② 紫波町に関する地域資料を、収集・保存する。
- ③ 紫波町の産業支援をする。

♣ 平成 26 年の秋、NHK おはよう日本では農業支援サービスが紹介され、産直マルシェのメニュー本ポップ(説明カード)が、全国に放映されました。野菜の棚にポップが貼ってあります。たまたま入店してきた女性の買い物かごに、図書館の本が入っている映像が流れ、こちらも驚きましたが、図書館の利用が確認できました。

このような積み重ねで来館者が次第に増えていきました。

また、初めて取り組んだ「調べる学習コンクール」では、地元の小学五年生森田開

君が文部科学大臣賞を受賞するという快挙を成し遂げました。

この様な取り組みが評価されて、2016 ライブラリーオブザイヤーの優秀賞 4 館に選ばれております。

♥ 今後は、3 本柱にもう一本「生活支援」の柱を設けて医療、健康情報等を提供していきたいと考えております。

手塚さん

● 自己紹介

◆ 秋田県上小阿仁村の出身です。96%が秋田杉の山で、高齢化率は 53%です。情報が限られるので、村に図書館を作るのが夢でした。

盛岡の大学を卒業後、日本一の図書館ともいわれる千葉県浦安市立図書館に 5 年勤務し、その後秋田市立中央図書館に 3 年、秋田県立図書館に 4 年おりました。後者の図書館の副館長が紫波町の図書館整備のアドバイス役であったご縁で 9 年前から



セッションでの発表資料の一コマ



オガール
プラザ
(図書館
を含む)

こちらに勤務しています。

● 人々を繋ぎ地域のハブ(要)となる

♣ 産業支援活動について述べますと、農協に属さない農家などで、最新の農業情報を得ることが難しい方々がおられます。高齢のひとが多い地域では図書館までなかなか来られないので、出かけていき、農業の裏技的な DVD 映像を上映したり、本を貸出したりします。大変喜んでいただき、図書館との接点にもなります。

♥ 図書館の外の人・モノ・コトの情報を収集し編集して新たな情報として発信する企画展示も行っています。

♠ 昨年 5 月に世界最大級の米国図書館協会 (ALA) 年次総会に、事前審査をパスして参加することができました。ジャパンセッションで一人 15 分ずつ英語でスピーチしました。私の発表に対しては「図書館が伝統的な枠組みを超越し、経済的かつ社会福祉的な豊かさを生み出す触媒になっていることに感銘を受けた」とのコメントもいただきました。

税務分野別に特化した専門チーム・総合力 NO.1 の 辻・本郷 税理士法人

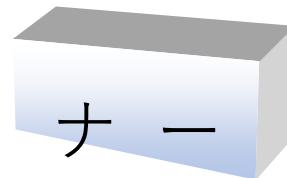
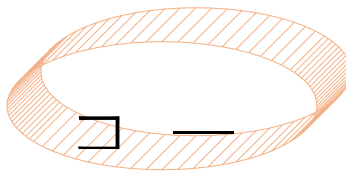
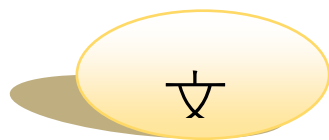
代表社員 本郷 孔洋 (岩手県一関市出身)

税務顧問・相続・事業承継・会計など
タイムリーにサービス提供いたします。

辻・本郷 税理士法人 盛岡支部
〒020-0021
岩手県盛岡市中央通2-11-18 明治中央通ビル5階
☎ 0120-10-0606
URL: <http://www.ht-tax.or.jp/> 辻・本郷 検索

いわて平成松下村塾
第八期(令和2. 7—9)
塾生募集中 !!!

これまでの七期で 7 市町村 18 名の塾生が巣立ちました。1 名が県議、2 名が市議として活躍中。



俳句みらい

共鳴句鑑賞

副会長 岩渕 正力



◎命かけ踏切渡る老いの春

目出度さは初湯で爺の子守歌

買初はそぼろにしぐれ煮詰合せ

評 踏切事故が後を絶たない。年間何件ぐらい起きて

きているのだろうか。「文明は尊きものか惨なる

かエンジンの音耳すましきく」という築地本願

寺境内に建つ歌碑が甦った。

高橋 小秋



冬木伐り中州広々新架橋

◎注連作り母の手早さ子の似たり

晴れ渡り経塚冠雪凜と立つ

評 羨ましいと思いが「不器用は父親ゆづり

注連飾る」という自拙句をにが笑いしながら思

い出していた。

佐々木 田三男



冬の月へットライトの□る橋

◎一番星見つめて急ぐ師走かな

雨音の協奏曲や小夜時雨

評 一年中で最も日が短かい季節であり、また、何

かと忙しい時節でもある。月や星を見上げて一

句、なんて余裕はない。一句目の□の部分、修正

液で消して別の字が書いてなかった。何の字が適

当か各自考えてほしい。正解者には本人から……

ないか。

中村 セイ子



老いし身は冬至南瓜に生かされて

台風に好かれ迷惑年の暮

◎零戦で九死に一生師走かな

評 たしか零戦で死ぬほどの体験をなされたように

聞いた気がする。九死に一生を得て九十歳を越し、

今また新しい年を迎えることが出来る。しかし、

私達にははかり知れない思いをかかえておられる

ことだろう。

小野寺 喜美治



◎筆塚に聞く寒禽や忌を修す

ポツリポツリ呟きほどの返り花

秋出水宙に浮きたる線路かな

鈴木 正子



評 忌は12月7日の遠藤梧逸の忌で、筆塚は霊
桃寺の「枯菊や洗ひし筆を軒に吊り」で間違
ないだろう。梧逸忌俳句大会は令和元年には開
かれず幕を閉じた。それを惜しんでの句であ
う。

恐竜の未来は如何に冬日さす
風と来て庭に落ち着く落葉かな

◎冬ざるる田に鉄塔の手をつなぐ

評 刈り取りの終わった冬田は荒寥として、冷た
い風が吹き抜けるだけである。そこで唯一力強
く頼母しく感じられるのはしっかりと手をつな
ぎ合っている鉄塔たちである。手を放すなよ！

あたらしき霜柱踏み今日始発

嗶れ声さらに嗶らししてくれの市

◎野の色のうるみ出しけり七日粥

評 正月七日、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベ
ラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロを入れた粥
を食べるのが七日粥。「七種の一種たづねあそ
び田へ」は私の句だが、セリくらいしか手に入
らない。野の色がうるみ出すとは巧みだ。お粥
らしさが出ている。



加藤 次男



田村 香子

海を見て走る列車の窓時雨
◎ラグビーや閻魔韋駄天芝翔ける
年暮るる医科大学は不夜の城

評 俳句ではラグビーが冬の季語。「ラグビーの
巨軀いまもなほ息はづむ」など誓子の句が有名
だが、この句も取り合わせがユニークでおもし
ろい。翔けるは素直に駆けるか駆けるにしたい。

数え日や術後の妹顔を見せ

◎千貫石堤底見せ水涸るる

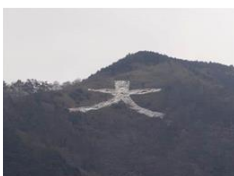
肩に雪おいし観音像に供花

評 金ヶ崎の千貫石溜池の築堤にあたり、当時(元
禄四年ごろ)の風習で人柱を立てた。それがおい
し。しかし、堤防は決壊した。安永六年。堤防
半ばに小さなお堂が建ち、上の丘に観音像が立
っている。「金剛庵築堤妙石禪大姉・元禄四年五
月六日・おいし十九才」とある。そこでの吟行句
だが、予備知識があつての作句であろう。

近 詠

寝正月雪大文字を一揖し

正力



渡辺 タエ子



種田 勝

令和2年度の事業構想(お知らせ)



(昨年11月の理事会で了承されました。正式には5月の総会で決定されます。)

総会・ 十周年記 念式典

5月16(土) 午後2時30分から総会、3時20分から十周年記念式典
場所: プラザイン水沢(奥州市水沢佐倉河字後田29)
記念式典においては、表彰状・感謝状を贈呈

講演会 交流会

① 総会・記念式典日(5.16) …講師: 文化界の人材
② 11月…講師: 政治・経済界の人材等を検討
講演会(2回)終了後、講師を囲んで交流会(会費制による懇親会)を開催

会 報

年4回発行。各回ごとに次の中心課題を設定。また、十周年記念事業としての特集記事を掲載

4月…「産業と経済—AI(人工知能)始めとする科学技術の振興、グローバル化(社会的・経済的な関係の地球規模的拡大)の進展とも関連させて」、7月…「環境と防災—地球温暖化対策、台風多発にも備える新たな防災等対策とも関連させて」、10月…「国民の生活と福祉・医療—幼児教育・保育無償化スタートから1年、厚労省による公立病院統合指針のその後とも関連させて」、2月…「女性活躍、教育・文化・スポーツ・芸術の振興—世界遺産登録の動向と課題にも関連させて」

意 見 交 換 会

2月…政治家、行政政策責任者等又は社会で幅広く活躍する人材を招き、講話いただいた後、意見交換

行政機関、政党 等への政策・意 見提言活動

①4月及び7月の会報で会員に呼びかけ、意見等募集→②10月の会報で中間報告→③11月の役員会で提言内容と活動手順を確認し、マスコミ発表→④12～2月に訪問や文書による提言行動

いわて平 成松下村 塾運営

次代の地域の発展を担う人材の発掘と育成を目的とする政経塾を引き続き開設。第八期として7～9月、第九期として1～3月に奥州市内(いわて未来研事務所ほか)で実施。塾生は公募し、1名から実施。首長経験者、議員経験者等が講義・指導する。

親睦交 流事業

9月～10月に水沢自動車学校バス(9人乗り)と参加者マイカーに分乗し、研修視察しながら懇談交流。視察先としては、県南地域の観光地を中心に検討。併せて公共的施設視察も検討。7月号の会報で参加を呼びかける。会費制(マイカー利用者は比較低額に)・会員以外の参加歓迎

その他

報道機関等の協力を得て政策提言・表明を積極的・効果的に行なう。

前年度と異なる内容等にアンダーラインを付しています。

意見交換会 ご案内

日時
場所

令和2年2月29日(土)午後2時30分から午後4時まで
水沢地区センター1階会議室(視聴覚室)
(奥州市水沢聖天 85 番地 2 電話 0197-23-3165)

意見交
換会

講師：総務省 岩手行政監視行政相談センター所長

原田 秀一 氏

演題：「総務省の行政相談制度
～地方センターの現場(きくみみ岩手)から～」



進め方

まず、原田講師から演題に関して 60 分程度お話いただき、その後、
15 分程度会場の出席者との意見交換という形で進めます。

申込み

同封の様式により、ファックス、電話等で 2月25日(火) まで。
会員以外の方のご参加も歓迎いたします。

政策・意見提言活動報告

趣 旨

第7回目となる「行政機関、政党等に対する政策・意見提言」について、会員から募集してまとめた内容を、11月30日の理事会で集約決定し、当日記者発表を行うとともに、その後提言活動を行いました。

提言内容は、会報第37号(7月30日付)の「行政機関、政党等への政策・意見提言一覧(中間集約)」により、お知らせしたものと基本的に同じです。詳しくお知りになりたい方は、お申し出ください。ホームページにも掲載します。

提 言
活 動

年月日	提言先・応対者	提言場所等	いわて未来研出席者
R1.12.26	県知事、県関係機関の長あて。平野直県南広域振興局長ほか応対	同局局長室 (写真は次頁)	会 長 相原 正明 監 事 千田 幸雄
R1.12.27	奥州市長あて。小沢昌記奥州市長、担当部長ほか応対	市長応接室 (写真は次頁)	副会長 星野 義雄 理 事 及川 佐
R2.1月 ～2月	関係大臣、岩手県関係国会議員、市長会・町村会長、政党本支部長	文書送付	

報 道

※ 平野局長、小沢市長からは、詳しい回答・コメントを頂きました。
令和1年12月27日に胆江日日紙、岩手日日紙に掲載

